

分科会 2

地域における家族支援

コーディネーター：飯塚壽美（埼玉県精神障害者家族会連合会）

演者：佐藤美樹子（さいたま市精神障がい者もくせい家族会）

永野昭二（精神障がい者家族会くもみじの会）会長）

古森隆子（岡山県備前保健所）

蔭山正子（東京大学大学院 医学系研究科地域看護学分野）

岡田久実子（さいたま市精神障がい者もくせい家族会）

まずコーディネーターから簡単に、初期家族の体験と家族のリカバリーに必要な家族支援、家族学習会の実際と学習会が果たした家族会の活性化、家族が本来持っている力を取り戻して力を発揮することで、生き生きした家族ピア活動が可能であること、そのさまざまな実践を報告する流れについて説明してから、以下の順番で報告していただきました。

- ① さいたま市もくせい家族会・佐藤美樹子さん・・・家族は何を体験したか・家族が求める家族支援・家族会活動で救われたこと
- ② 備前市・和気町もみじの会・永野昭二さん・・・家族学習会を実施して家族はどう変わったか
- ③ 備前保健所・古森隆子さん・・・家族学習会が家族会を変えた
- ④ 東京大学地域看護学助教・蔭山正子さん・・・家族のリカバリープロセスと必要な家族支援
- ⑤ さいたま市もくせい家族会・岡田久実子さん・・・家族が地域の支援者と連携して取り組んだ家族支援

今回発表された方全員が事前に発表内容の資料を提出した結果、当日の資料集に詳しく載っていますので、再度それをご覧下さい。

休憩を挟んでから、質問用紙に書いていただいた質問にそれぞれが回答して、その後で埼玉県立大学の横山恵子先生の司会進行の下で、6～7名のグループ毎に、今回のテーマについて、発表内容への感想などを話し合っていました。

より深く今回のテーマを考えていただけたと思います。

この分科会には、地域の支援者、家族会家族、当事者など、さまざまな立場の方が、約80名参加されました。アンケートを実施した結果、約7割の56名が回答して下さい、また連絡先を記入して下さいました。その感想やご意見をもとに、今後の活動の参考にしたり、新たな活動のご案内を出したいと思います。

内容の流れが大変良かった、分かり易かった、今後地元での家族支援に生かしたいなどの声が多数出されました。可能であれば小冊子にまとめて、今後の全国における家族支援につなげたいと考えています。

《飯塚壽美（埼玉県精神障害者家族会連合会）》